

大桑 第226号 9月号 まさたか

栄区から横浜を変える！

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅で配っています！

栄区から、しがらみのない市政(政治)を実現します！



市議員5期目
よろしくお願ひします！

市議員としての約束

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞(広報)を配り続けます。
- 2、大桑まさたかの政務活動費を公開し続けます。
- 3、私たち市民が市政(政治)に参加する流れをつくります。
- 4、子や孫のために持続可能な横浜(社会)をつくります。

横浜市長選挙の投票率などについて

令和3年8月8日(日)から8月22日(日)で実施された横浜市長選挙ですが、8月22日に投開票され新たな市長が当選されました。裏面で私の考えを書かせて頂きますが、ここでは投票率などについてお知らせします。

はじめに横浜市全体の投票率ですが、49.05%となっており、前回の市長より11.84%投票率が上がりました。前回の横浜市全体の投票率は37.21%でした。

次に、区ごとの投票率を上位からお知らせします。区ごとの投票率で1番高かったのは栄区の52.22%となっており、前回より10.17%上がっています。2番目は港南区の51.43%となっており、前回より11.84%上がっています。続いて3番目は金沢区の52.05%となっており、前回より10.94%上がっています。

最後に、横浜市は18区ありますが投票率が前回より1番伸びたのは青葉区の14.96%でした。区ごとの投票率は50.67%で5番目となっています。

大桑新聞

プロフィール

第226号(9月号)

大桑正貴(おおくわまさたか)

連絡先

横浜市議員 大桑正貴(市政報告書)

〒247-0006 神奈川県横浜市栄区笠間2-20-7-102

TEL : 045-892-5187

FAX : 045-884-4917

H P : <http://m-okuwa.net/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型
横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業/神奈川大学法学部法律学科卒業

平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職

平成15年(2003年)4月 横浜市議員 初当選

平成19年(2007年)4月 横浜市議員 2期目当選

平成21年(2009年)9月 明治大学 専門職大学院修了

平成23年(2011年)4月 横浜市議員 3期目当選

平成27年(2015年)4月 横浜市議員 4期目当選

平成31年(2019年)4月 横浜市議員 5期目当選

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。

7月分の収支報告(収入は政務活動費55万円/毎月)

令和3年度7月現在の政務活動費累計残高は**86,685円**です。

今月の支出の内訳

調査研究費	100,336円	資料作成費	0円
研修費	0円	資料購入費	3,189円
広報費	296,247円	人件費	0円
広聴費	0円	事務所費	102,267円
会議費	0円	事務費	13,894円

7月の支出合計は

515,933円です。

近況報告

令和3年第3回市会定例会ですが、9月10日(金)から10月22日(金)で開催される予定です。この定例会でも新型コロナウイルス感染症対策などについて議論されることになるとと思いますが、新しい市長が決まり初めての定例会になりますので、しっかりと議論をしていきたいと思っています。

次に、私の事務所についてですが、桂町から笠間に移動し、少しずつですが事務所に人がいる体制を取れるようにしております。しかし、土日なども含め、1日中、事務所に人がいる体制をとることは難しいので、連絡をして頂いた時に不在の場合は、留守番電話へのメッセージ、またはFAXをお願いします。

最後に、大桑新聞では栄区のことを中心に、横浜市で起きていることをお伝えしています。これは、私は「**知って頂くことが何よりも大切**」だと感じているからです。これからも、この考えをもとに大桑新聞を作成していきますので、大桑新聞をお願いします。

今後の横浜市政について

表面では投票率などについて書きましたが、改めて、新たな市長の公約(政策)に対する私の考えや見かたなどをお知らせできればと思っています。

まず8月22日(日)に投開票された横浜市長選挙では、新人の元横浜市大の方が当選されました。今後、新しい市長は市長選挙期間に掲げた公約(政策)を実現させようと横浜市議会に提案してくることになると思います。

そのような中、8月30日(月)に新たな市長が市役所に初登頂し、9月10日(金)から始まる第3回市会定例会で、我々、市議会側と議論をすることになります。是非、新型コロナウイルス感染症に関しては具体的な対策が出されることを期待したいと思います。しかし、その財源をどのように確保するのか難しい点もあると思います。また、IRについてはIRを反対する市長が当選した以上、取り止めになるとは思いますが、今後、財政状況が厳しくなる横浜市のために(横浜市民のために)、「**IRに代わる財源をどのように作っていくのか**」確認したいと思っています。

次に、新しい市長の公約(政策)の中に、「**敬老パスの自己負担をなくす**」「**子供の医療費を無料にする**」「**出産費用を無料にする**」とあります。これはとても心配をしています。もちろん、市長選挙で当選してきた新しい市長からの提案となれば、**真摯に受け止めしっかりと議論をしたい**と思っています。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症対策で予定より500億円多く借金をするなど、横浜市の財政状況は厳しいものがあります。今後、新たな財源を生み出すために「**今までやっていた事業を見直す・事業をなくす**」などの方法はあると思いますし、新たな市長もそのようなことを言っていました。ただし、そうなる横浜が今まで進めていた事業(政策)が止まるなど、多くの影響がでる可能性がありますので、今後「**新たな市長の考えや提案について**」お知らせできればと思っています。



大桑新聞ではみなさまとともに、

栄区について考えていきたいと思っております。

HP : <http://m-okuwa.net/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp